

(有)横川工務店

第57回のよしとみさんぽ。今回お話を伺ったのは、昭和45年創業の(有)横川工務店の横川清一さん。三代で半世紀以上、吉富町の暮らしを支えてきた老舗工務店をご紹介します。



横川清一さん

菊代さん

尊之さん

創業されてどのくらいですか。

父が若くして「横川組」を立ち上げ、昭和44年に「横川工務店」へ。そこから約50年以上、地域の皆さんの支えがあつてここまでやってこれました。

工務店をやるうと思つたきっかけは。

父は早くに父親を亡くし、母親を支えるため若くして働き始めました。私は小さい頃からその背中を見て育つたので、気づけば建築の専門学校に進み、気づけば現場に立っていました(笑)。自然と「この道で生きていくんだらうな」と思っていましたね。

仕事のやりがいや魅力は。

お客さんとしつかり話しながら、想いを形にしていくことですね。満足してもらえたときの「ありがとう」の一言が一番のやりがいです。昔は新築ラッシュで忙しい時代もありましたが、今はリフォームを中心にコツコツ地域密着。口コミで支えていただいているのが本当にありがたいです。

お父さんから見た息子さんはどんな存在ですか。

尊之は、とにかく頼もしい！ 建築も土木もできて、外で培った経験値がしっかり生きています。人が嫌がる仕事も率先してやるから、周りからも可愛がられるタイプですね。商工会青年部の副部長としても「町を盛り上げたい！」と頑張ってくれているし、「若い力ついでいなあ」と感じています。

仕事をする上で心がけていることは。

お客さんの話を聞き逃さないこと。それと安全管理！最近の夏は異常な暑さで、現場の仲間の体調管理も大切な仕事のひとつです。材料費の高騰など大変な部分も多いですが、できる限り希望に近づけるよう努力と工夫をしています。



最後に町民の皆さんへ。

吉富町が大好きで、息子も「やっぱり吉富で働きたい」と帰ってきました。そして今は、元気いっぱい孫の姿もそばで見れるので、ますます頑張ろうと思える毎日です。(笑)父の代から地域の皆さんに支えられ、ここまで続けてこられました。これからも恩返しのため、親子で力を合わせて頑張っていければと思います。



住所 / 今吉267-2
営業時間 / 8:00~17:00
電話番号 / 23-4027